

vol. 2301

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館  
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

# 大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ 【売価】30円(組合員の購読料は組合費の中に含んで徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 大分高教組 第115回定期大会

## 大分高教組 第115回定期大会

と き：6月24日(土) ところ：大分県教育会館多目的ホール

高教組第115回定期大会を実施しました。教育をめぐる諸課題や、多忙化の厳しい状況など、活発な討論が行われました。各議案は賛成多数で全て成立し、2023年度の運動方針を確立しました。

西原宣明日教組書記次長、岡本天津男大分県教育委員会教育長をはじめ、25名の来賓をお招きし、9時30分に開会しました。福田洋平副委員長の開会宣言に続き、議長団に藪亀尋子さん(国速杵支部・国東)、三宅祐二郎さん(大分東部支部・大分鶴崎)、八木聡子さん(臼津支部・津久見)、議事運営委員に佐藤立也さん(宇高支部・宇佐支援)、財津真代さん(別府支部・別府鶴見丘)、小池加寿子さん(大分西部支部・新生支援)、平川英樹さん(佐伯支部・佐伯豊南)、

議長団：前列左から 佐藤さん、安倍さん  
後列左から 財津さん、小池さん、平川さん

議長団：左から 藪亀さん、三宅さん、八木さん

安倍久美子さん(事務職組・玖珠美山)を選出し、議事に入りました。

### 大野執行委員長あいさつ(骨子)

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に変更され、さまざまな活動が以前の状態に戻ろうとしています。この間、大きく進めなければならなかった学校現場の勤務労働条件の改善に、本腰を入れてとりくみを進めなければなりません。

6月16日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2023」では、自民党特命委員会の審議を受けて「真に頑張っている教師が報われるよう、教職員調整額の水準や新たな手当の創設も含めた各種手当の見直し」と言及されていますが、教育職員に超勤はないという前提に立つ「給特法」のあり方を見直すのではなく、小手先の改善に過ぎません。

学校現場の超勤問題は、現場の努力での改善には限界があり、もはや学校本来の目的である教育内容を根本的に見直し、授業内容を大幅に削減する以外に改善の道はありません。授業時数の削減は、過去にとりくまれた「ゆとり教育」が、きちんとした総括もなされないまま社会的には「失敗」であったと決めつけられてしまった経験からすると、困難な道であることはいまでもありませんが、現場実態からは唯一の方法であると確信します。

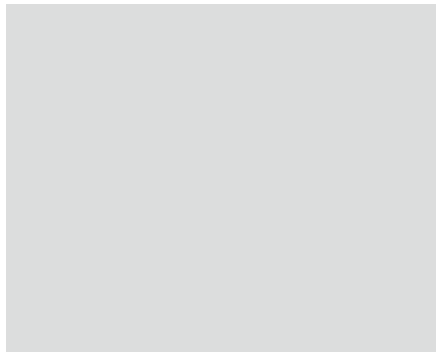
平和の危機です。ロシアのウクライナへの「反転攻勢」という表現が当たり前メディアで流されています。真に世界

平和を求めるのであれば、即時停戦を求める声を広げていかなければなりません、即時停戦要求はロシアを利するかのような風潮があります。「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンは、今、目の前で人々が戦争で命を落とすことのないように訴えているのではないのでしょうか。

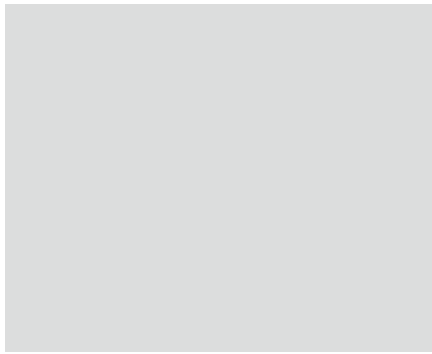


委員長あいさつ (要旨)

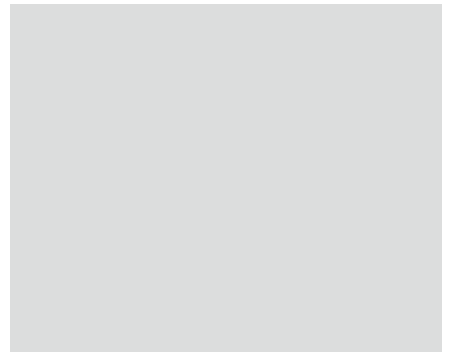
ご挨拶をいただいたご来賓の方々 (挨拶順)



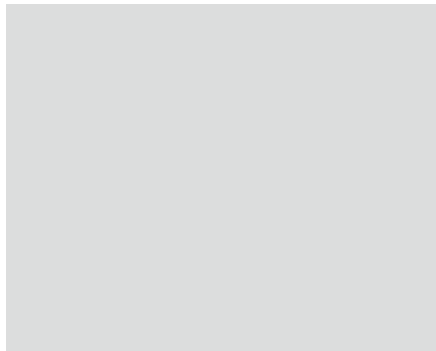
古賀千景 参議院議員



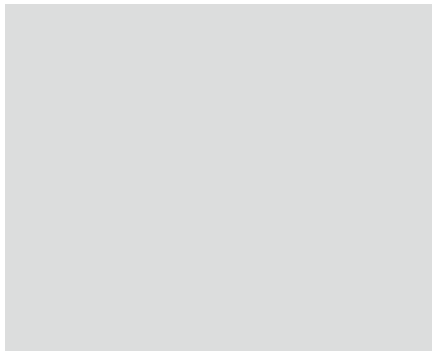
西原宣明 日本教職員組合書記次長



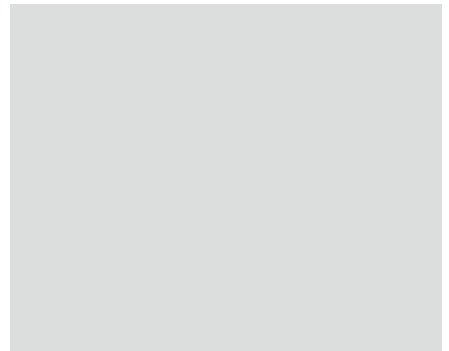
岡本天津男 大分県教育委員会教育長



石本健二  
日本労働組合総連合会大分県連合会会長



姫野正二  
大分県平和運動センター事務局長



吉川 元  
衆議院議員・立憲民主党大分県連合代表代行

御来賓の方々 (敬称略)

- |                               |                                       |
|-------------------------------|---------------------------------------|
| 西原宣明 日本教職員組合書記次長              | 那賀久資 自治労大分県職員連合労働組合／自治労大分県職員労働組合執行委員長 |
| 岡本天津男 大分県教育委員会教育長             | 藤田一樹 大分県人権・部落差別解消教育研究協議会会長            |
| 石本健二 日本労働組合総連合会大分県連合会会長       | 滝口元二郎 大分県労働者福祉協議会専務理事                 |
| 姫野正二 大分県平和運動センター事務局長          | 佐藤寛人 九州労働金庫大分県本部本部長                   |
| 吉川 元 衆議院議員／立憲民主党大分県総支部連合会代表代行 | 小島三利 こくみん共済coop大分推進本部本部長              |
| 高野博幸 大分市議会議員社会民主党大分県連合副幹事長    | 塩月裕市 大分県勤労者医療生活協同組合専務理事               |
| 吉良州司 衆議院議員 (秘書 堀嘉徳)           | 松本 章 部落解放同盟大分県連合会書記次長                 |
| 古賀千景 参議院議員                    | 白 一秀 在日本朝鮮人総聯合会大分県本部委員長               |
| 水岡俊一 参議院議員 (秘書 濱田和彦)          | 横道信哉 教職員共済生活協同組合大分県事業所所長              |
| 須賀要子 中津市議会議員                  | 河野宏明 明治安田生命保険相互会社九州沖繩公法人部法人営業部長       |
| 金田浩嗣 大分県立学校長会副会長              | 梶原 悟 大分県高等学校退職教職員協議会会長                |
| 宗安勝敏 大分県教育会館理事長               | 瀬尾彰一 大分県高等学校生活協同組合専務理事                |
| 岡部勝也 大分県教職員組合執行委員長            |                                       |

## 質疑応答・意見・討論 (要旨抜粋)

### \* 第2号議案～5号議案に対する質疑応答

#### 質疑

#### 《第3号議案 2022年度運動の総括に関する件》

##### 1. 民主教育を守り発展させるとりくみ

三重総合：土曜講座について。全国での状況はどうか。本部としての今後の方向性についての見解は。

回答：全国的な実施ではなく、いくつかの地域で実施と認識。大分高教組は、必要ないという考え。

##### 5. 労働基本権確立、職場の民主化のとりくみ

爽風館定：タイムレコーダー導入にメリットはあったのか。

回答：超勤実態の把握という面でメリットはあった。データを活用し、見える形で業務削減に結びつけることが今後の課題。

雄城台：新採用の代替がつかなかった。他校ではどうか。

回答：ついていないのはおかしい。確認していきたい。

##### 7. 単組・専門部のとりくみ

爽風館定：定時制における給食の意義は大きい。本部はどのように考えているのか。

回答：教育の根幹にかかわることと捉えている。会計年度任用職員だけになり給食が止まったこともある。課題として捉えていく。  
現業：本部と連携しながら生徒にとって一番いい方法を考えていきたい。

#### 《第4号議案 2023年度運動方針に関する件》

##### 2. 教育条件整備、定数増のとりくみ

三重総合：全県一通学区制で、地域の高校の定員割れが続いている。県はどのような見解を示し、本部はどう対応しているのか。

回答：県教委は「意義がある。進学実績が上がった」という見解、定員割れとの因果関係は認めていない。本部としては、県教委も定員割れについて課題であるという認識があるので、そこから議論を進めていく方針。

##### 5. 労働基本権確立、職場の民主化のとりくみ

爽風館定：「一太郎」が使えなくなるのは困る。

回答：継続は難しいとのこと。文書作成はできないが、見ることにはできる、と聞いている。

爽風館定：地理教員がいなくなった。定数は変わらなくても専門性を持った教員の確保がなされていない。

回答：県は教科で対応できるとおもっている節がある。本部として今後も指摘していく。

三重総合：教諭の兼務発令などで担任をもてない先生がいる状況。学校運営がまわらない。

回答：実態把握をして県に訴えていく。

#### 意見・討論

#### 《第3・4号議案》

##### 1. 民主教育を守り発展させるとりくみ

竹田：進路指導主任会議で「1人2社受験」について「ルールはない」という県の発言。注視が必要。

玖珠美山：共通テストに教科「情報」が追加され、その授業確保で負担増が生じている。

##### 2. 教育条件整備、定数増のとりくみ

大工定：全日制の電子科増に伴い、定時制の教室が変更されることになったが、ICT等が整備されていない部屋。全日制も自転車置き場が不便になった。クラス増にするのに併せて施設等の整備行うべき。

玖珠美山：芸術家の教員が非常勤だと、高文連関係の出張に出られない。考慮して配置・運用してもらいたい。

##### 5. 労働基本権確立、職場の民主化のとりくみ

爽風館通：ハラスメントの訴えを取り下げると、県は、なかったものとして取り扱っているようだ。

爽風館通：55歳以上の教職員が異動してくることが多いが、通信制の業務に慣れずに苦労している。

竹田：3年以内での転勤が多い。分掌などの継承ができない。人事について見直してもらいたい。

竹田：雇用の確認のために障害者手帳の確認をされる。困りを聞く姿勢をもつべき。

豊府：土曜講座は管理職が変わり、課題配信となった。前管理職は職員の確認なくPTAと話をしていた。管理職が変わると大きく変わると実感した。

雄城台：土曜講座・夏季補習が1・2年生は廃止され、3年生の希望者のみの実施となった。

大分舞鶴：土曜講座は希望制。働き

方と学力向上を考えるPTを立ち上げた。単位数が減少。初めは抵抗感があったが、時間にゆとりができ、良かったと思う。

7. 単組・専門部のとりくみ

爽風館通：沖縄慰霊の日の行事で、沖縄の校長が黙とうの呼びかけを行った。その対応は素晴らしいと思う。  
爽風館通：爽風館通信制は生徒数が増えている。しかし、教員数は減り、多忙化に拍車がかかっている。

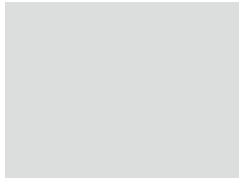
総括討論

実教：県が通知文書で2度も「実習助手」としたことに對して本部が連携して対応してくれたことに感謝している。「りんご」物販への皆さんの協力に感謝。

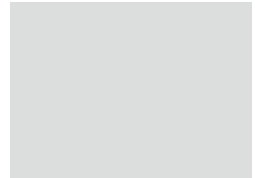
爽風館定：「松下竜一」さんの言葉を紹介。「自分たちの働く環境は自分たちで作るんだ」という気概が大事ではないか。

◆特別執行委員あいさつ

則松佳子特別執行委員（副事務局長・日教組特別執行委員）、および、尾島保彦特別執行委員からあいさつがありました。尾島特別執行委員は、これまで大分県議として永らく高教組活動を支えて下さり、この度の統一自治体選挙でご勇退されました。これまでのご尽力、本当にありがとうございました。



則松佳子特別執行委員



尾島保彦特別執行委員

◆退任執行委員あいさつ

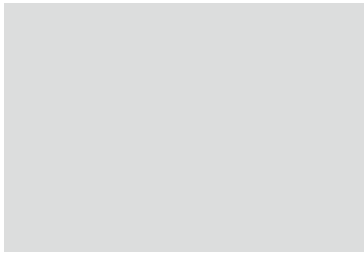
昨年度末をもって執行委員を退任した、瀬尾彰一さん（現高校生協専務理事）からあいさつがありました。これまでありがとうございました。皆さん、生協を利用しましょう。

全国定通体育大会参加者旅費補助費贈呈式・職場新聞コンクール表彰式

全国定通体育大会参加者旅費補助贈呈式と職場新聞コンクール表彰式を行いました。

全国定通体育大会参加者旅費補助贈呈式

全国定通体育大会参加者旅費は、働きながら学ぶ生徒の実情を考えれば、県費負担であるべきと要求し続けていますが、実現していません。そこで高教組は、主任手当拠出金を財源として補助を行っています。今年度は県内の定時制・通信制全5分会へ贈呈しました。



職場新聞コンクール

6団体の応募がありました。組織強化の観点から、情報共有する役割は極めて大きいものがあります。来年度は更に参加団体が増えることを期待します。

- 最優秀賞 大分工業分会「DAIKO分会通信」
- 優秀賞 日田定時制分会「共研」
- 優良賞 養護教諭部「養教だより」
- 優良賞 女性部「Like a Willow」
- 奨励賞 中津支部「中津支部だより」
- 奨励賞 情報科学分会「高教組情報科学分会通信」



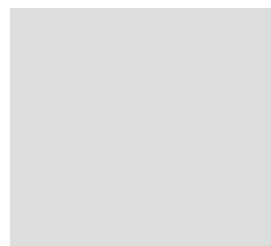
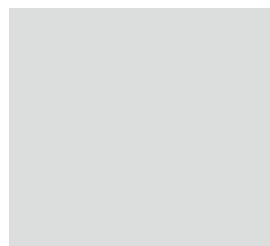
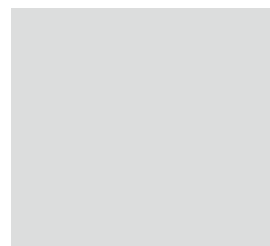
大会スローガン、大会宣言、特別決議 採択

大会の最後に、大会スローガン、大会宣言、特別決議が賛成多数で採択されました。

大会宣言



特別決議



大会スローガン、大会宣言、特別決議を読み上げる大会宣言起草委員の皆さん 左から東野望さん（ろう）、三石修さん（日田支援）、平山齊昭さん（三重総合）

多くの皆さんの協力で、大会は盛会のうちに終えることができました。ありがとうございました。